

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

「学習の進め方」を示し、伝え合うことを明確にしており、「学び合い」や本文中の「問」の中で、自分の考えを説明したりまとめたりする活動、友だちと伝え合う題材を用いて、表現力の育成を図る工夫がされている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。また、全国の自然や芸術、造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成することにも配慮されている。とりわけ大阪の施設等を複数題材にとり上げ、郷土に対する愛情を育もうとしている。<②③④⑦⑧>

2. 教育基本法に基づく観点

「社会とつながる」などで社会や職業における数学の活用に触れ、キャリア教育の観点から職業観を育てようとする工夫が見られる。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、紙ごみの問題など、環境保全の意識を高めるような題材を扱っている。また、「和算」やそれに關わる人物を取り上げ、我が国の数学文化や人物に対する親近感や誇りが持てるようにしている。<③④⑩>

3. 学習指導要領に基づく観点

「たしかめ」や「まちがい例」、「まちがいなおし」を設け、つまづきに対するきめ細かな対応で基礎・基本が身に付くようにしている。特に数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。そして、「学習課題」を明示し、(Q)や「学び合い」で数学的活動を促し、「数学マイノート」でノートの記述例を示すなど、主体的な学習を通して、数学的な思考力や表現力の育成を図っている。次に、章末の「活用問題」や巻末の「社会とつながる」では、日常生活や社会への活用を重視し、数学の有用性を実感できるよう工夫している。さらに、「ちょっと確認」や「算数のふりかえり」では既習事項の確認、「もっと練習」では少し難しい問題、さらに第3学年では「分母の有理化」など、高等学校につながる内容にも触れられており、学習習慣を身に付け、個に応じた学力の伸長を図っている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑪>

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

数式の意味を理解できるよう、第2学年の「整数の性質の文字を用いた説明」の定着をめざして、第1学年で、連続する整数などの文字を用いた表現を扱い、第3学年で、証明した命題の一部を変えて、発展的に考えるような問いかけがある。また、図形の分野においては図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。また、活用・発展の部分では学力調査B問題を念頭に置いて、理由や方法、事象などを説明する記述式の問題を扱っている。<②④>

5. 外的要素に関する観点

ユニバーサルデザインフォントマークがあり、読みやすさに対して配慮されている。また、文節改行を徹底しており、読解において誤解をしやすい生徒に対して配慮がなされている。表紙を含めた装丁や紙質にも問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①②>

6. 構成・配列に関する観点

側注の「ちょっと確認」で既習事項の内容を確かめた上で、数学的な表現や処理の仕方を学ぶよう工夫されており、算数タグで振り返り学習をしたり、「補充の問題」でくり返し演習を重ねられるよう工夫されている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。しかしながら、第1学年の作図において、垂直二等分線の前に垂線を扱っており、概念理解の発展性から逆の方が有効だと考える。<①③>

7. 資料その他に関する観点

「Dマークキャラクター」を付した箇所では、ICT機器を適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末には本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配慮されており、出典も示されている。<①②③>

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

「研究をしよう」「レポートを書こう」では、説明する活動や互いの考えを紹介しあう活動が取り上げられ、問題解決の過程で他者とのコミュニケーションを学べるよう工夫されている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。また、全国の自然や芸術、造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されているが、大阪の伝統・文化に対しては特段踏み込んだ記述や資料はない。駅伝大会の場面や野球選手の投球の分析、バレーボール選手の身長を考える場面などを取り上げ、身近なスポーツに興味をもったり、測定値について考えたりして、健康・体力の保持増進に配慮している。<②⑤⑥⑦⑧⑩>

2. 教育基本法に基づく観点

学習内容に関連するコラム「社会にリンク」を領域ごとに掲載し、数学を学ぶことのよさを実感できるようにしている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、自然環境の変化や電気エネルギーに関する話題を取り上げ、環境保全の大切さを考えられるように配慮している。また、世界史に残る著名な数学者を取り上げたり、他国における数学の歴史や文化などを紹介したりして他国の理解をはかり、国際社会の平和・発展に寄与する態度を養おうとしている。<③④⑥>

3. 学習指導要領に基づく観点

側注に「思い出そう」を設け、既習事項の振り返りができるようになっていたり、「プラス・ワン」としてくり返し練習する機会を設けている。また、節末の「練習」では、戻って復習ができるように関連するページを示すなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得をめざしている。特に数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。そして、「数学の世界へようこそ」や「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」など、数学的活動を通して学ぶことについて具体的に記載しており、予想をしたり、見通しをもって課題を解決したりする能力を育てようとしている。また、図書館での本の貸し出しや、駅伝の対抗戦を題材にした「利用」の節が設けられ、既習事項を利用して事象を数理的に捉え、数や式、図、表、グラフなどを用いて表現する力を伸ばそうとしている。さらに、「挑戦しよう」や側注の「もっと数学1」、巻末「Mathful」の「2乗すると負になる数」など、発展的な内容や高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑪>

4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点

図形分野において図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。また、活用・発展の部分では学力調査B問題を念頭に置いて、理由や方法、事象などを説明する記述式の問題を扱っている。<②④>

5. 外的要素に関する観点

ユニバーサルデザインフォントマークがあり、読みやすさに対して配慮されている。また、表紙も含め装丁や紙質に問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①②>

6. 構成・配列に関する観点

学習の項目ごとに導入課題、学習のねらいが示され、続いて学習活動、まとめ、確認と配置され、基礎的な概念や原理・法則の理解を助ける工夫がされている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量について適切である。見開きが1小節で整理されていて見やすいが、内容の区切りとしては適切でない場面もある。<①③>

7. 資料その他に関する観点

電卓を使用したり、第1学年の「コンピュータを使って資料を整理しよう」でコンピュータを取り扱ったり、ICT機器を適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末には本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。<①②③>

数学	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果				
学図					
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
<p>巻末の「さらなる数学へ」～協同学習のページ～では、レポートの作り方や発表のしかた・聞き方を提示して、自分の考えをまとめる方法を示しており、「伝えるマーク」では、話し合いや説明活動に取り組めるようにしている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。一方で、全国自然や芸術、造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されているが、大阪の伝統・文化に対しては特段踏み込んだ記述や資料はない。<②⑥⑦⑧⑨></p>					
2. 教育基本法に基づく観点					
<p>「まとめの問題」「深めよう」などで職業や仕事に関連づけて、数学が実社会に生かされていることが実感できるよう配慮されている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、ゾーラーパネルや地球温暖化など、環境保全の意識を高めるような題材を扱っている。また、「和算」や日本の伝統文様を扱い、我が国の数学文化や人物に対する親近感や誇りを持てるようにしている。<③④⑤></p>					
3. 学習指導要領に基づく観点					
<p>節末の「確かめよう」では、自身で復習ができるように本文の参照ページ・参照箇所を示したり、側注に「ふりかえり」として既習事項をまとめ、学年間のつながりを意識しながら学び直しができるように配慮されたりしている。特に数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。また、「類推」「帰納」「演繹」の考え方の違いを明確にし、数学的な見方や考え方を育む配慮がなされている。さらに、章の導入で話し合いや観察、操作や実験などを取り入れるとともに、「見つける」「活用する」「伝える」マークを使って、数学的活動に対応した問題が分類されており、その楽しさや有用性を実感し、活用しようとする態度を育てようとしている。また、グラフから車の燃費を考える問題や、図を使って船の位置を求める問題のように、すべての章に「深めよう」の節が設けられ、身に付けた知識・技能や数学的な見方・考え方を活用できる能力を高めようとしている。第3学年の本文「クローズアップ」の「乗法公式を使った分母の有理化」や、巻末の「高校へのかけ橋」などで、高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑪></p>					
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点					
<p>章のまとめの問題では、学力調査やPISA調査を意識した、活用力や読解力を養うことができる問題設定をしている。また、図形分野においては図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。<②④></p>					
5. 外的要素に関する観点					
<p>表紙も含め装丁や紙質に問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①②③></p>					
6. 構成・配列に関する観点					
<p>各小節で「目標」を示し、「Q」で学習する動機を明確にして次の学習へ進めるようにしている。また、章の導入で提起した問題を本文中でもう一度取り上げることで、学習のつながりを明確にして思考の流れを実感できるようにしている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。<③></p>					
7. 資料その他に関する観点					
<p>電卓を使用したり、第1学年の「円周率πの話」でコンピュータを取り扱ったり、ICT機器を適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末には本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。<①②③></p>					

数学	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果					
教出						
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点						
<p>「問」や「みんなで数学」において、「伝えよう」「話し合おう」のラベルを付け、自分の考えを説明したり、まとめたり、話し合ったりする活動を促して表現力の育成を図る工夫がされている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基礎づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。また、全国自然や芸術、造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されているが、大阪の伝統・文化に対しては特段階み込んだ記述や資料はない。<②⑤⑥⑦⑧⑨></p>						
2. 教育基本法に基づく観点						
<p>「チャレンジコーナー」「数学ミニ事典」「数学メモ」「数学の広場」「自由研究」では、数学を日常生活や社会に利用する課題を取り上げ、興味・関心に応じて主体的に取り組めるよう配慮されており、数学のよさを実感できるよう工夫されている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。<③></p>						
3. 学習指導要領に基づく観点						
<p>章末の「学習のまとめ」で関連箇所を明示しつつ穴埋め形式の復習したり、「もどって確認」や巻末の「たしかめの補充問題」など繰り返し演習したり、基礎・基本の定着を図っている。特に、数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。また、例題ごとに目標が掲げられており、思考の方向性を見定めやすくなっている。そして、「Let's Try」では、教科書の紙面を使って活動ができるようになっており、「みんなで数学」では、具体的な授業の展開を紙面上に例示し数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう構成されている。また、「自由研究」での倍数を見つける課題や、石取りゲームの必勝法など、学んだことを利用して事象を数理的に捉え、数や式、図、表、グラフなどを用いて表現できるよう工夫されている。さらに、第3学年「チャレンジコーナー」の「乗法公式を使った分母の有理化」や巻末「ひろがる数学」などで、高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑪></p>						
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点						
<p>図形分野においては図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。また、活用・発展の部分では学力調査B問題を念頭に置いて、理由や方法、事象などを説明する記述式の問題を扱っている。<②④></p>						
5. 外的要素に関する観点						
<p>小学校からの円滑な移行のために、第1学年の1章・2章では比較的文字を大きくする等配慮されている。また、カラーユニバーサルデザインマークがあり、色づかいに対して配慮されている。表紙を含めた装丁や紙質にも問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①③></p>						
6. 構成・配列に関する観点						
<p>学習の項目ごとにねらいを明示し、「Q」で学習内容のきっかけとなる問題を提示し、「例題」「たしかめ」で学習内容の理解を深めるよう構成されている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。<①③></p>						
7. 資料その他に関する観点						
<p>第1学年の「電卓で遊ぼう」で電卓を使用したり、コンピュータを取り扱ったり、ICT機器を適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末に本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。<①②③></p>						

数学	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果						
啓林館							
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点							
<p>「自分のことばで伝えよう」「みんなで話しあってみよう」では、考え方や理由を述べる場面で、多様な答えや解決方法がある問題を取り上げ、表現力の向上をめざす工夫がされている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。また、全国自然や芸術、造形に触れ、「日本一」を紹介することで、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されている。とりわけ大阪の施設等を複数題材にとり上げ、郷土に対する愛情を育もうとしている。さらに、スロープや車いすバスケットボール、点字など、特別支援教育に対する配慮も見られる。<②⑤⑥⑦⑧⑩></p>							
2. 教育基本法に基づく観点							
<p>「身のまわりへひろげよう」では、数学を利用する価値を理解しつつ主体的に学習が進められるようにしており、「ひろがる数学」「数学を通して考えよう」では、日常生活や社会、他教科と数学との関わりを考えることができる工夫がされている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、夏の気温上昇やソーラーキッチンに関する話題を取り上げ、環境保全の大切さを考えられるように配慮するとともに、「塵劫記」などの和算やそれに関わる人物を取り上げ、我が国の数学文化や人物に対する親近感や誇りを持てるようにしている。<③④⑥></p>							
3. 学習指導要領に基づく観点							
<p>「ふりかえり」において、既習事項の学び直しをするとともに、別冊「MathNaviブック」の「学びをつなげよう」では、これから学習する内容につながる既習事項を紹介し小・中学校の連続性にも配慮されている。また、振り返りの関連箇所を示した章末「基本のたしかめ」や巻末「くり返し練習」で基礎・基本の定着を図っている。特に数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。また、例題ごとに目標が掲げられており、思考の方向性を見定めやすくなっている。また、「ノートのかふう」で記述力の向上を図るとともに、学習意欲を喚起する「学習のとびら」や「みんなで話しあってみよう」で数学的に説明し合う場面をつくり、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるよう構成されている。各章に「千思万考」が設けられ、「一次関数」でグラフから効率よく移動する問題や、「二次方程式」での正方形の問題のように、学んだことを利用して事象を数理的に捉え、数や式、図、表、グラフなどを用いて表現させるようにしている。さらに、第3学年巻末「ひろがる数学」の「方べきの定理」などで、高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑪></p>							
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点							
<p>円柱・円錐の体積をはじめ図形の分野において図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。また、活用・発展の部分では学力調査B問題を念頭に置き、「自分のことばで伝えよう」などで、予想した事柄を数学的な表現で説明したり、作図の手順とそれが正しい理由を説明するなど、理由や方法、事象などを説明する記述式の問題を扱っている。<②④></p>							
5. 外的要素に関する観点							
<p>文節改行を徹底しており、読解において誤解をしやすい生徒に対して配慮がされている。また、カラーユニバーサルデザインマークがあり、色づかいに対して配慮されている。表紙を含めた装丁や紙質にも問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①②③></p>							
6. 構成・配列に関する観点							
<p>別冊で既習事項を確認し、「とびら」で新しい節の学習内容、「ひろげよう」で新しい学習のきっかけとなる問題、「ふりかえり」で関連する事項を提示し、数学的活動を通して本題を学習し、再び別冊で活用力を伸長するという構成に設定されており、概念や原理、法則が円滑に理解されるよう取り扱われている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。<①③></p>							
7. 資料その他に関する観点							
<p>「数学広場」の第1学年「資料の活用とコンピュータ」で「ICTの窓」を設け、ICTを適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末に本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。<①②③></p>							

数学	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果						
数研							
<p>1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>「伝え合おう」では、自分の考えを数学的に説明して互いに伝え合う活動をさせ、表現力の向上をめざしている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っており、各箇所世界文化や人物に触れ、数学で培った能力をもって国際社会で活躍できるという夢と希望を与えている。また、全国自然や芸術、造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されているが、大阪の伝統・文化に対しては特段踏み込んだ記述や資料はない。＜②⑥⑦⑧＞</p>							
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>「数学探検」では、日常生活に密着した話題や発展的な内容につながる話題などが設けられ、数学が社会に果たす役割を実感できるよう工夫されている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、地球温暖化問題など環境保全の意識を高めるような題材を扱っている。他国の文化や人物に触れ、国際社会に貢献しようとする態度を育成する意図も感じられる。＜③④⑤＞</p>							
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>巻頭の「クイックチャージ」や側注の「ふりかえり」で既習の重要事項の学び直しができるようにし、小学校からの連続性にも配慮されている。また、章末「基本問題」や巻末「確認しよう」では繰り返し学習する機会が設けられており、必要に応じて振り返って復習ができるように関連ページが明示されている。特に数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。そして、「Q」「見つけよう」「活用しよう」「やってみよう」で数学的活動を求める課題が出され、学んだことを利用して事象を数理的に捉える力を高めたり、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるよう構成されている。次に、「知識を活用しよう」では、身につけた知識や考え方を活用することで、身のまわりの問題を解決できるような課題を与えている。さらに、「ぐんぐんのばそうチャレンジ編」の「深めよう！」や「発展」では応用力を高めるための問題を扱っており、また、第3学年の「無理数の証明」などで、高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。＜①⑩⑪＞</p>							
<p>4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点</p> <p>図形分野においては図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。また、活用・発展の部分では学力調査B問題を念頭に置いて、理由や方法、事象などを説明する記述式の問題を扱っている。＜②④＞</p>							
<p>5. 外的要素に関する観点</p> <p>表紙も含め装丁や紙質に問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。カラーユニバーサルデザインマークはあるものの、緑色の濃度が強い箇所があり、見えにくい生徒がいる可能性がある。＜①③＞</p>							
<p>6. 構成・配列に関する観点</p> <p>新たな学習内容のきっかけとなる問いかけ「Q」や項目の初めに「ここで学ぶこと」が設けられ、学習内容の見通しを立てた上で本題を学習して、反復練習を行うという流れになっており、ノートづくり方も示して円滑な理解を助けている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。＜①③＞</p>							
<p>7. 資料その他に関する観点</p> <p>電卓を使用したり、第1学年「やってみよう資料の整理」でコンピュータを取り扱ったり、ICTを適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末には本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。＜①②③＞</p>							

数学	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果					
	日文					
1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点						
<p>側注や小節末などに設けられた「話し合おう」には、みんなで話し合っ解決する課題を示し、授業の中で言語活動の充実を図るポイントがわかりやすく示されている。また、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力の育成、日常生活や社会への利用など、学力向上の基盤づくりを目標としている。合わせて、巻頭で、今後学習を進めていく上での留意点に触れ、数学的な活動が、豊かな人間性と創造性を高めるとともに、自己の道を切り拓く能力を育むための重要な手段であるというメッセージを送っている。さらに、全国 naturally or art, 造形に触れ、我が国の伝統・文化を尊重する態度を育成するよう配慮されている。とりわけ大阪の施設等を複数題材にとり上げ、郷土に対する愛情を育もうとしている。スロープや車いすマラソン、点字など、特別支援教育に対する配慮も見られる。<②⑥⑦⑧⑩></p>						
2. 教育基本法に基づく観点						
<p>社会とのつながりを意識して消費者教育に関する内容を取り上げている。また、男女平等をはじめ人権尊重などの観点からも適切に表記されており、課題に対して自身の考え方を整理するとともに、他者との学び合いを大切にしながらその考えを尊重して解決する姿勢を育むよう配慮されている。さらに、燃費や空き缶のリサイクルに関する話題を取り上げ、環境保全の大切さを考えられるように配慮している。また、「和算」に関する課題や、数学は国内外の数学者の努力によって発達してきたことを示す題材を扱い、我が国と国際社会を尊重する姿勢の育成を図っている。<③④></p>						
3. 学習指導要領に基づく観点						
<p>巻末「数学マイトライ」の「算数をふりかえろう」で小学校の既習事項がまとめられており、中学校との連続性にも配慮されている。また、各章前の「次の章を学ぶ前に」で既習事項を確認するとともに、側注「ふりかえり」や関連ページの明示、章末「くり返し練習」で、学び直しができるよう工夫されている。特に、数式の処理を扱う部分では、個々にその方法や留意点を解説している。加えて、例題ごとに目標が掲げられており、思考の方向性を見定めやすくなっている。そして、「見つけよう」「生活への利用」「説明しよう」で、新たな性質などを見いだし、身の回りのことに数学を利用し、方法や理由を説明することにより、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるよう構成されている。また、「やってみよう」では、学んだことを活用して考える課題を扱い、「数学のたんけん」には、防災や生活などに関連した話を掲載し、生活への活用に関心をもちたせる工夫をしている。さらに、「チャレンジ」「とりくんでみよう」では発展的な内容を扱い、第3学年5章の章末「深める数学」の「三角形の重心」など、高等学校につながる内容にも触れられている。ICTについても、その活用を通して学習を効果的に進められるよう配慮されている。<①⑩⑫></p>						
4. 全国学力・学習状況調査の結果に基づく観点						
<p>巻末「力をのぼそう」では、学力調査で正答率が低かった問題を中心とした(A問題)と、理由や方法、事象などを説明する記述式を中心とする(B問題(活用))を扱っている。また、図形分野においては図や写真などの資料を数多く掲載し、視覚的に分かりやすく捉えられるよう配慮されている。<②④></p>						
5. 外的要素に関する観点						
<p>文節改行を徹底しており、読解において誤解をしやすい生徒に対して配慮がなされている。また、表紙も含め装丁や紙質に問題はなく、ページを左右に広く開くことができるため、見やすく書き込み等の作業もしやすいように製本している。<①②></p>						
6. 構成・配列に関する観点						
<p>章の導入で身近な事例を扱い学習意欲を高め、章のねらいを確認した後に学習の項目ごとの目標を理解してから学習内容に入る構成となっており、基礎的な概念や原理、法則について円滑に理解されるよう取り扱われている。内容についても必要事項を満たしており、特に無駄な記述もなく各学年及び各領域の分量については適切である。見開きが1小節で整理されていて見やすいが、内容の区切りとしては適切でない場面もある。<①③></p>						
7. 資料その他に関する観点						
<p>第1学年「空間図形」「資料の活用」などで電子黒板やパソコンなどを取り扱い、ICTを適切に取り入れて学習が効果的に進められるよう工夫されている。また、巻末には本文の内容が具体物を用いて学習できるように、切取線付きのカラーの付録が設けられている。全体的に豊富な図表や写真が個性的に配置されており、出典も示されている。<①②③></p>						